



## 2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月30日

上場会社名 日本アビオニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6946 URL <http://www.avio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 秋津 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部経理部長 (氏名) 吉田 祐司

TEL 03-5436-0600

四半期報告書提出予定日 2019年2月1日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	11,992	8.7	738		791		1,101	
2018年3月期第3四半期	13,128	5.7	671		699		491	70.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,082百万円 ( %) 2018年3月期第3四半期 418百万円 ( 73.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	390.14	
2018年3月期第3四半期	173.86	133.39

2017年10月1日を効力発生日として、普通株式につき10株を1株とする株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を記載しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	25,655	7,898	30.8
2018年3月期	27,581	8,981	32.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 7,898百万円 2018年3月期 8,981百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		0.00	0.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後掲「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	1.1	200		150		0		0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 山梨アピオニクス株式会社  
(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	2,830,000 株	2018年3月期	2,830,000 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	5,972 株	2018年3月期	5,822 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	2,824,125 株	2018年3月期3Q	2,824,470 株

2017年10月1日を効力発生日として、普通株式につき10株を1株とする株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第1種優先株式					
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	0.00	—		
2019年3月期(予想)				0.00	0.00
第2種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	0.00	—		
2019年3月期(予想)				0.00	0.00

(参考) 1. 第1種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。

ただし、計算の結果、第1種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

第1種優先株式配当金=1,000円×(日本円TIBOR+1.0%)

※ 日本円TIBOR・・・毎年4月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オフ  
ファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

2. 第2種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。

ただし、計算の結果、第2種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

第2種優先株式配当金=1,000円×(日本円TIBOR+1.25%)

※ 日本円TIBOR・・・毎年10月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オ  
ファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数  
値

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	9
(1) 受注高及び受注残高 .....	9
(2) 売上高 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦問題などの不安要因はあるものの、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費にも持ち直しの動きがみられ、緩やかな景気回復基調で推移しました。

このような事業環境において、当第3四半期連結累計期間における売上高は、情報システムは増加したものの電子機器の減少、並びにプリント配線板の事業終息に伴い、前年同期比11億36百万円減少の119億92百万円(前年同期比8.7%減)となりました。

損益に関しましては、諸経費削減等に努めたものの、売上高の減少に加え、一部の不採算案件により原価悪化したことから、営業損失は前年同期比67百万円悪化の7億38百万円、経常損失は前年同期比91百万円悪化の7億91百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失につきましては、前年同期に特別利益として計上した受取補償金14億77百万円が、当第3四半期連結累計期間においては計上が無いことから、前年同期比15億92百万円悪化の11億1百万円となりました。

なお、2016年7月7日に「連結子会社における物件収去等に伴う補償金の収受及び、プリント配線板事業の移管並びに、通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、東海旅客鉄道株式会社(以下、JR東海といいます。)のリニア中央新幹線計画に協力するため、プリント配線板の製造を分担している連結子会社の山梨アビオニクス株式会社の敷地の一部をJR東海に譲渡し、当該敷地から建物等を収去する補償としてJR東海から補償金を収受することとし、今後、土地の引渡し時に22億16百万円を特別利益に計上する予定です。また、2018年4月27日に「連結子会社の吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、2018年10月1日を効力発生日として山梨アビオニクス株式会社を吸収合併いたしました。

## セグメント別の状況

## 情報システム

情報システムは、防衛省の国内調達が低調に推移している影響はあるものの、期首受注残高が高水準であったことから、売上高は増加しました。セグメント損益は、一部の不採算案件により原価悪化したことから損失となったものの、売上高の増加、諸経費の削減により改善しました。

この部門の当期の売上高は、75億74百万円(前年同期比20.4%増)となりました。セグメント損益は、前年同期比2億52百万円改善の5億10百万円の損失となりました。

## 電子機器

電子機器は、赤外線機器は国内の鉄鋼・電力向けシステムが堅調に推移したことから、売上高は増加しました。一方、接合機器は、国内は自動車部品市場を中心に売上高が増加しましたが、海外はスマートフォン市場の減速に伴う設備投資の低迷や、米中貿易摩擦の影響による商談の延期等により、情報機器向けの売上高は大きく減少しました。セグメント損益は諸経費の削減に努めたものの、売上高の減少により悪化しました。

この部門の当期の売上高は、40億97百万円(前年同期比24.5%減)となりました。セグメント損益は、前年同期比5億98百万円悪化の1億36百万円の損失となりました。

## プリント配線板

プリント配線板は、2018年3月をもって生産停止し、当期の顧客の売上検収の完了により事業終息しており、敷地の一部をJR東海に譲渡するため、建物の解体、更地化を進めております。

この部門の当期の売上高は、3億20百万円(前年同期比77.2%減)となりました。セグメント損益は、前年同期比2億79百万円改善の90百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ19億26百万円減少し、256億55百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が12億47百万円、たな卸資産が3億73百万円減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億43百万円減少し、177億56百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が4億29百万円、賞与引当金が4億8百万円減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億82百万円減少し、78億98百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を11億1百万円計上したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年4月27日に公表いたしました業績予想に修正はありません。

なお、当社グループの売上高は、季節的変動によって連結会計年度末に偏ることから、通期の業績予想に対し第3四半期連結累計期間までの売上高並びに利益の割合が低くなっております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,994	2,364
受取手形及び売掛金	11,173	9,925
たな卸資産	4,583	4,209
その他	433	175
流動資産合計	18,185	16,675
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,159	1,138
土地	4,004	4,004
その他（純額）	420	256
有形固定資産合計	5,584	5,399
無形固定資産	164	124
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	2,406	2,489
その他	1,271	995
貸倒引当金	△30	△29
投資その他の資産合計	3,647	3,454
固定資産合計	9,396	8,979
資産合計	27,581	25,655

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,390	2,961
短期借入金	3,205	4,275
未払法人税等	4	18
賞与引当金	785	376
工事損失引当金	5	—
製品保証引当金	30	65
事業移管損失引当金	906	631
その他	1,681	1,727
流動負債合計	10,008	10,055
固定負債		
長期借入金	3,520	3,030
再評価に係る繰延税金負債	994	994
退職給付に係る負債	3,511	3,395
その他	565	281
固定負債合計	8,591	7,701
負債合計	18,600	17,756
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,895	5,895
資本剰余金	750	—
利益剰余金	△423	△775
自己株式	△14	△15
株主資本合計	6,207	5,105
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	2,253	2,253
退職給付に係る調整累計額	520	539
その他の包括利益累計額合計	2,773	2,793
純資産合計	8,981	7,898
負債純資産合計	27,581	25,655



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	13,128	11,992
売上原価	10,318	9,661
売上総利益	2,810	2,330
販売費及び一般管理費	3,481	3,069
営業損失(△)	△671	△738
営業外収益		
助成金収入	—	32
その他	26	17
営業外収益合計	26	50
営業外費用		
支払利息	39	47
減価償却費	—	46
その他	15	9
営業外費用合計	54	103
経常損失(△)	△699	△791
特別利益		
受取補償金	1,477	—
特別利益合計	1,477	—
特別損失		
固定資産除却損	3	20
事務所移転費用	—	35
特別損失合計	3	55
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	774	△847
法人税等	283	254
四半期純利益又は四半期純損失(△)	491	△1,101
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	491	△1,101

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	491	△1,101
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△72	19
その他の包括利益合計	△72	19
四半期包括利益	418	△1,082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	418	△1,082
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年6月26日開催の第68期定時株主総会の決議により、2018年6月27日付で、資本準備金750百万円の全額及び利益準備金77百万円の全額を減少し、その同額をその他資本剰余金及び繰越利益剰余金に振り替えております。さらに、資本準備金振替後のその他資本剰余金の全額を繰越利益剰余金に振り替えております。

なお、本件は株主資本における勘定科目の振替処理であり、当社の株主資本の合計額に変動はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当社の連結子会社であった山梨アビオニクス株式会社は、2018年10月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

(単位:百万円)

	情報システム	電子機器	プリント配線板	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,293	5,428	1,406	13,128
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	6,293	5,428	1,406	13,128
セグメント利益(営業利益)	△763	461	△369	△671

(注)セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

(単位:百万円)

	情報システム	電子機器	プリント配線板	合計
売上高				
外部顧客への売上高	7,574	4,097	320	11,992
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	7,574	4,097	320	11,992
セグメント利益(営業利益)	△510	△136	△90	△738

(注)セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. 補足情報

## (1) 受注高及び受注残高

(単位：百万円)

	前年同四半期 2018年3月期 第3四半期累計		当四半期 2019年3月期 第3四半期累計		(参考) 2018年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
情報システム	7,921	8,065	7,403	7,887	11,295	8,058
電子機器	5,393	1,844	3,666	1,252	6,878	1,683
プリント配線板	1,414	747	—	—	1,538	320
合計	14,729	10,657	11,069	9,139	19,712	10,062

## (2) 売上高

(単位：百万円)

	前年同四半期 2018年3月期 第3四半期累計		当四半期 2019年3月期 第3四半期累計		(参考) 2018年3月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
情報システム	6,293	47.9%	7,574	63.1%	9,674	51.7%
電子機器	5,428	41.4%	4,097	34.2%	7,075	37.8%
プリント配線板	1,406	10.7%	320	2.7%	1,957	10.5%
合計	13,128	100%	11,992	100%	18,707	100%

(注) 海外売上高は以下のとおりであり、内数であります。

(単位：百万円)

	前年同四半期 2018年3月期 第3四半期累計		当四半期 2019年3月期 第3四半期累計		(参考) 2018年3月期	
	海外売上高		海外売上高		海外売上高	
情報システム	6		30		11	
電子機器	3,458		1,707		4,164	
プリント配線板	74		57		85	
合計	3,540		1,795		4,260	
海外売上高の連結売上高に占める割合	27.0%		15.0%		22.8%	